

平成 25 年 9 月 6 日
農 林 水 産 省

I 竜巻等突風対策局長級会議報告（24. 8. 15）のフォローアップ

竜巻等突風対策局長級会議（報告）（24. 8. 15）（抜粋）

IV 竜巻等突風に対する住民、市町村及び国の今後の取組

2. 中期的な取組（1～2年程度を目途に一定の成果）

（3）物的被害を軽減させるための方策

○農作物・農地における防災対策

- ・ 50 m/s 程度の風速に耐える低コスト耐候性ハウスの導入推進

1. 24年8月15日以降も、引き続き、強い農業づくり交付金により、全国的に導入を支援した。

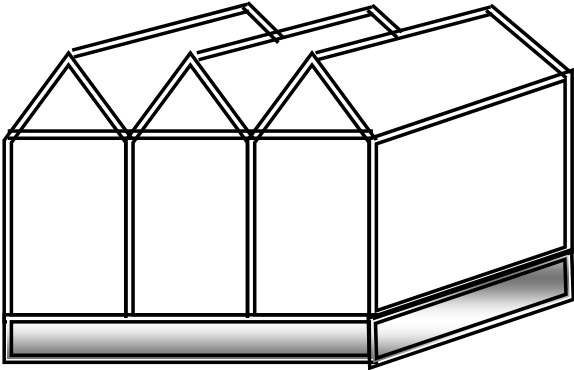
2. 今後も、同様の支援を行う。

II 竜巻等突風対策関連の平成26年度予算要求状況

50 m/s 程度の風速に耐える低コスト耐候性ハウスの導入推進のため、強い農業づくり交付金を要求。（33, 422百万円の内数）

園芸用ハウスの比較

鉄骨ハウス



- ・鉄骨パイプでなく、鉄骨のため強度が高い。
- ・基礎面で多くのセメント基礎を施用するため、強度が高い。
- ・設置費が高い。
(1,400~1,500万円/10アール)

低コスト耐候性ハウス (鉄骨パイプハウス+基礎部分を強化)



- ・従来の鉄骨パイプハウスに基礎部分、鉄骨接合部分を補強したため、強風に強い。
(耐風速50m/s)
- ・鉄骨ハウスよりも設置費が安い。
(900~1,100万円/10アール)

鉄骨パイプハウス



- ・強度が低いので、強風に弱い。